

すくい 議会だより

No.
101
2017.4
編集/議会広報編集特別委員会
発行/岩手県栗石町議会



●今号の主な内容

3月定例会、予算特別委員会…2

町政を問う

一般質問 9議員が質問…10

常任委員会報告…21

ふるさとへの便り(67)…23

●今号の表紙/まちの笑顔シリーズ

「栗石ダイナミックス 野球スポーツ少年団」…24

29年度
予算総額

161億2,348万

一般会計予算は、



多くの傍聴者の中、一般質問始まる

平成29年3月定例会は3月2日から3月23日までの22日間の会期で行われました。この間、大村、南畑、安庭小学校の閉校式が開催され議員も出席しました。

予算特別委員会（委員長・杉澤敏明、副委員長・西田征洋）は、9件の29年度当初

予算を審査し、原案を可決すべきものとなりました。本定例会では条例1件を否決し、その他の案件計43件は全て原案通り可決しました。一般質問は、9名が登壇し、町当局の考えをたきました。

平成29年度各会計当初予算

会計名	予算額	対前年比
一般会計	91億4,000万0千円	7,000万0千円
国民健康保険特別会計	23億6,300万0千円	1,116万6千円
御明神財産区特別会計	1,103万4千円	△108万3千円
介護保険事業勘定特別会計	18億4,550万1千円	8,643万6千円
介護保険介護サービス事業勘定特別会計	1,251万1千円	△250万6千円
雫石町立雫石診療所特別会計	3億8,423万2千円	115万2千円
後期高齢者医療特別会計	1億5,229万8千円	483万3千円
水道事業会計	7億8,738万1千円	1億2,926万5千円
簡易水道事業特別会計	水道事業会計に移行	△4,698万2千円
下水道事業会計	14億2,752万7千円	7,612万8千円
総合計	161億2,348万4千円	3億2,840万9千円

4千円を可決

賛成 8、反対 6

討論要旨

賛成

堂前議員 新年度を町の地域経済の活性化や子育て支援、魅力の向上を図る絶好の機会と捉える一方で、本町の最重要課題を人口減少対策とし、平成 29 年度予算をまち・ひと・しごと創生総合戦略や生涯活躍のまち構想の推進などに全力で取り組む予算となっている。全体的に大規模プロジェクトの進展に伴い、人口減少対策や中山間地域の活性化事業に力を入れている。また、少子高齢化対策として安心子育て医療費給付の高校生卒業までの拡大、保育料の段階的な負担軽減など、子育てしやすい環境づくりの推進、地域全体で高齢者や障がい者を支えていく地域包括ケアシステムの構築などが挙げられる。

上野議員 総じて安定と町発展、町民福祉向上に取り組む町政と、それを担当する所管部署の意気込みを表した予算案である。町民の生活環境が変化し、税収も厳しさを増す中、町民の負託に応え、部門によっては少ない予算で効率のよい行政運営を図り、大きな成果を期待できる内容が随所に見られる。

反対

大村議員 一般会計予算の中に行政関係諸法令が正しく解釈され、正しく適用されているか疑問に思われる事務事業が散見される。また、全国で高齢者用住宅事業からの 300 件近い撤退があり、大きな問題となっている。このまま町有地活用プロジェクトを強行すれば、大きな負の遺産となる。

西田議員 14ヘクタール活用の焦点が甚だ不透明で、やり方も納得いかないし、説明もくるくる変わっている。外から来る人たちに金を使うよりも、現在町内で生活している人たちにこそ目を向けるべきではないか。国保や介護とかもっと手厚い待遇が求められている。

山崎議員 福祉を語るのなら、いま住んでいる住民の福祉ニーズを、また社会的ニーズは何かをしっかりと把握することが先である。いますべきことは 2 年間続けて待機児童が出るような現状を改善することや、身体が弱っても高齢者たちの行くところがないという声をどうするかではないか。

加藤議員 この SNS^{※1} 時代に来るあてもない方々のための移住イベントやインフラ整備^{※2} に何千万円、何億円とつぎ込むより、他市町村のように若者移住者に手厚く支援する方策を発信すれば、その気のある人は自分で調査し、この町に来て見るのではないか。

※1 SNS：ネット上で社会的な繋がりを持つことができるサービス

※2 インフラ整備：道路等社会生活の基盤整備

無駄を見極め、個性や独創性

予算特別委員長報告

真の町民福祉の向上につながる効果的な予算であるのかに主眼を置き、特に、当町の地方創生に係る総合戦略のあり方や指定管理など多くの意見等が出された。また、基幹産業のさらなる振興や教育環境の向上にも鋭意取り組むよう要望された。

これらを十分に踏まえて、町民の声に耳を傾けながら、予算の執行には公金であることを念頭に、何が無駄かをしっかり見きわめ、個性や独創性で政策を立案する町政運営を切望する。

移住をPRする動画の公開は

総 【横手委員】移住PR動画公開業務委託料113万4千円について、どのような形で公開・活用していくのか。

答 【企画財政課長】総務省の移住・定住のホームページに掲載し希望者に観ていただき、移住フェアや移住促進センターのイベントなどでも動画を活用して雫石町をPRしていく。

ふるさと雫石同窓会開催助成金を創設へ

総 【上野委員】ふるさと雫石同窓会開催助成金10万円について、29年度の新たな助成金だが、内容は。

答 【企画財政課長】雫石町出身で町外に住んでいる方と町内に住んでいる方が同窓会を開催する際に助成する。30代、40代、あるいは50代の町出身の方に雫石町に来て同窓会を開催して、その際に雫石へのUターンについても考え、目を向けていただくといった活動、懇親会を応援するための思いから、今回創設した。

介護相談先の事業所は

民 【加藤委員】地域包括ケアシステム構築事業で、広報では介護相談先として、笑々館、はーとぼーと、日赤鶯鳴荘、にこトピアが載っている。その他の居宅介護支援事業者では相談ができないのか、4カ所以外載せないのは不公平ではないかという町民の声があるが。

答 【長寿支援課長】各地区4カ所所で高齢者相談等対応の委託をしている。居宅介護支援事業所に相談に行くのは構わない。

「とくし丸」の周知に工夫を

民 【山崎委員】高齢者等暮らしの活動支援事業委託料は前年度と同じ357万6,000円だが、実績からか。また、移動販売車「とくし丸」の音があまり聞こえないといった声もある。周知の方法など工夫を考えているか。

答 【総合福祉課長】(株)Aコープ北東北に委託運営しており、人件費に相当する分で同額とした。1日14万円前後の売り上げがある。聞こえないという利用者の声は、運転手からも毎月頂戴したので、チラシ等周知をしながら進めていく。



高齢者の見守りの役目も

総 …総務費 **民** …民生費 の決算書の項目を表しています。

のある政策で町政運営を

町内に待機児童はいるのか

民 【岩持委員】 保育所の児童数は、20%まで超過してもいいと聞いていたが、それでも20数名の待機児童が出る予想なのか。出生が見込まれる時点から計画的に進めるべきではないか。

答 【総合福祉課長】 現時点で20名ほど見込まれる。定員の20%を超えない部分なら入所可能ではあるが、ゼロ歳児や1歳児を預けたい方が多く、さらなる保育士数が必要で確保がままならない状況だ。支援策が固まり次第対象者に伝える。

資格等取得支援の実績は

労 【山崎委員】 勤労者支援事業資格等取得支援助成金の減額理由と28年度実績は。

答 【観光商工課長】 28年度は20人を目標としたが、現在の実績は0人。29年度は10人を見込み、厚労省の教育訓練給付事業講座122を対象としている。

勤労青少年ホームの耐震診断は

労 【石亀委員】 勤労青少年ホームを近隣自治体で廃止という所もある。新年度予算に耐震診断委託料があるが、どうか。

答 【生涯学習課長】 今年度（28年度）も5,000人を超す利用人数が見込まれる。今ある施設を長く有効に活用する方向で考えている。また、町の指定避難所でもあるので、安全を確保する観点からも状況を確認する。



耐震診断が待たれる勤労青少年ホーム

肉牛増頭支援は50歳以下の方に

農 【上野委員】 肉牛振興対策費1,500万円を計上しているが、前年度との違いは。

答 【農林課長】 これまでは、肉牛繁殖農家には、飼養規模で補助率に差をつけて導入頭数の支援をしてきたが、今年度は差をつけず50歳以下の方々に対し、増頭支援していく。肥育牛については、28年度の取り組みを継続する。



町内牛の増頭支援を進める

農業公社設立の見通しは

農 【岩持委員】 昨年の予算審議で農業公社設立のため、1年間調査するとのことだったが、公社化できる見通しは。

答 【農林課長】 農産物の流通販売に関しては、難しい。また、農業の支援は、農業指導センターにおける機能のあり方を含めて、見直していく。現時点では公社設立までは進めない。

ケッパレランドの管理運営費の報告は

教 【大村委員】 ケッパレランドの管理運営費について、町体育協会の不適切な支出があったが、その対策について報告することになっていた。3月になっても未だないのはなぜか。

答 【生涯学習課長】 限られた時間の中で全てを確認することまで至っていないが、適切な運営に向け事務のあり方等を含め、町体育協会会長、理事長等と協議は進めている。庁舎内のコンセンサスを得た上で報告する。

ファミリーマラソンの波及効果は

教 【西田委員】ファミリーマラソンの経費が約670万円、参加料が約558万円で、町の持ち出しは112万円以上になる。町主催行事の波及効果などシミュレーションはしているのか。

答 【生涯学習課長】ランナーの方たちは短期間で転戦という形が多いと聞くので経済効果を計るのは難しい。スキー大会等の試算は行ったことがあるが、マラソンについては行っていない。
 【観光商工課長】よしゃれ祭りや雪まつり等の入り込み試算例を参考にして進める。

給食費長期滞納への解決策は

教 【石亀委員】学校給食費の長期滞納もあるのではないかと思うが、解決策としてどういう指導をしているか。

答 【学校教育課長】28年度の未納額は小学校2校8,000円、中学校11万2,000円であり、過年度分未納額は31世帯で約450万円だ。文書や電話等で徴収に取り組んではいるが具体的な解決に至っていない。本当に悪質なケースについては現状把握と実態調査して取り組んでいく。

老朽化の資料館、抜本的な検討は

教 【山崎委員】歴史民俗資料館の修繕費は畳の交換等で約20万円と少ないが、トイレも含めかなり老朽化している。文化財や遺産含め価値があるものなどに対し保存状態が良くないことも指摘されているが、抜本的な検討は。

答 【町長】貴重なものも展示できないことや、置き場所がないということで雑然としているのは確かだ。空き校舎等、保存場所や展示できる場所など担当課と検討する。

地域支援事業者への説明は

特 【加藤委員】介護予防生活支援サービス事業3,569万円について、29年度から要支援1、2の方の訪問介護、通所介護が地域支援事業に移行され、事業所への報酬が今までの1か月4回のサービスでの報酬から1回ごとの報酬に変更になった。事業所には非常に厳しいと思うがどうか。

答 【長寿支援課長】今回の要支援1、2の方の訪問介護、通所介護を地域支援事業に移行するにあたり、近隣市町の事業所とも何度も協議してきた。月1回しか行かない方だと事業所の報酬は減るが、町の考えに同意してもらえたと考えている。

御明神地区、西山地区の小学校統合の準備は

総 【川口委員】30年度に御明神地区、西山地区の小学校統合だが、統合の準備は進んでいるか。

答 【学校教育課長】御所地区については6か月という短い期間だったので、各小学校の財産の移動等間に合わなかった部分があった。御明神地区、西山地区の統合については、その反省を踏まえ協議し、進めていく。



貴重な文化財も多い歴史民俗資料館

町当局に提言 (主なもの)

意見

1

ナラ枯対策を早期に

問 【上野委員】 松くい虫被害に全力で対応し、ナラ枯にも早期発見、撃退をするべき。

答 【農林課長】 松くい虫被害には駆除と樹種転換を進める。ナラ枯には関係団体と共通認識のもとで取り組む。



意見

2

電気工作物保安管理を競争から入札へ

問 【加藤委員】 町の施設（健康センター、公民館等）の自家用電気工作物保安管理（委託料年間総額約 350 万円）を電気管理保安事業者と随意契約しているが、資格のある町内業者も含めて競争入札とするべき。

答 【総務課長】 資格者がいる電気業者に委託できることを知らなかった。検討する。



意見

3

自ら動いて企業誘致を

問 【石亀委員】 31 年までに企業誘致 18 社、雇用 147 人という目標だが、絵に描いた餅とならぬよう自ら動いて企業誘致をするべき。

答 【観光商工課長】 町外からの企業誘致と町内の方が起業することにも鋭意取り組んでいく。

意見

4

町道整備計画一覧表の公表を

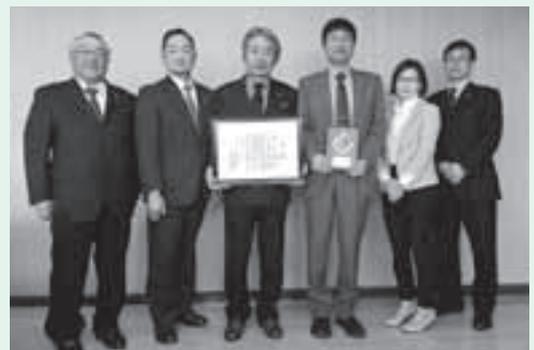
問 【加藤委員】 道路舗装や改良の陳情・請願で未実施分が 94 路線と言うことだが、20 年も 30 年も待っている町民がいる。優先順位を含め実施計画の一覧表を公表するべき。

答 【地域整備課長】 陳情された方に当然知らせるべきと考える。優先順位と合わせ検討する。



議会だより 『28年度（第35回）岩手県 町村議会広報コンクール』で 入選（1席）

主な評価は、議会の中身がよくわかる、特に賛否一覧や賛否議員の動向紹介の点（質疑、討論）で、「情報公開」「見える化」の進んでいることであった。



議案等 番号	件名	議員名														採決結果	
		堂前義信	横手寿明	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀 貢	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	加藤真純		
議案第33号	雫石町の辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第34号	町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	町道路線の認定変更について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて（雫石町デイサービスセンター）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第37号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて（雫石町農村資源活用施設（そば打ち体験施設、農林産物処理加工施設、日本のハーブ園及びビニールハウス））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第38号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて（雫石銀河ステーション（農林産物直売・食料提供供給施設及び広場、駐車場等））	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第39号	公の施設の指定管理者の指定期間の変更に関し議決を求めることについて（雫石町飲料水供給施設（桑原飲料水供給施設））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第40号	公の施設の指定管理者の指定期間の変更に関し議決を求めることについて（雫石町飲料水供給施設（小赤沢飲料水供給施設））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第41号	雫石町保育料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第42号	平成28年度雫石町一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第1号	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第2号	子どもの医療費窓口無料化（現物給付）の対象拡大を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成 ●…反対 ※前田議長は採決には加わりません。

公の施設の指定管理者の指定（主なもの）

次の施設の指定管理者の指定を可決した。

公の施設の名称	指定管理者となる団体の名称	指定の期間
町農村資源活用施設 （そば打ち体験施設、農林産物処理加工施設、日本のハーブ園及びビニールハウス）	雫石町御明神小赤沢 98 番地 特定非営利活動法人 オール・カネージュ雫石 理事長 小志戸前 和夫	平成 29 年 4 月 1 日～ 33 年 3 月 31 日
雫石銀河ステーション （農林産物直売、食料提供供給施設及び広場、駐車場等）	雫石町橋場坂本 118 番地 10 株式会社 しずくいし 代表取締役 櫻田 久耕	平成 29 年 4 月 1 日～ 33 年 3 月 31 日
雫石町デイサービスセンター	盛岡市三本柳 6-1-10 日本赤十字社岩手県支部長 支部長 達増 拓也	平成 29 年 4 月 1 日～ 30 年 3 月 31 日

陳情

件名	提出者の住所および氏名	審査結果
免税軽油制度の継続を求める陳情	雫石町高倉温泉 株式会社 プリンスホテル 雫石スキー場 佐藤 光紀	【採択、意見書を提出】 この制度がなくなれば本町の基幹産業である農業および観光産業に大きな負担となり、震災の影響、原発風評と相まって、事業経営維持に支障を来し、地域経済にも悪影響を与える。
	雫石町網張温泉 一般財団法人 休暇村協会 休暇村いわて網張温泉 中山 広一	
	雫石町長山岩手山 22-362 株式会社 鈴木商会 岩手高原スノーパーク 山本 善和	

3月定例会

一般質問 町政を問う 9議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

質問者	質問内容	掲載頁
 おおむらしょうとう 大村昭東議員	網張鉦泉地の使用許可は	11
 にしだまさひろ 西田征洋議員	橋場地域の築堤は	12
 どうぜんよしのぶ 堂前義信議員	指定管理者制度取り組みの改善は	13
 かわぐちかずお 川口一男議員	タイ訪問の効果は	14
 すぎさわとしあき 杉澤敏明議員	雫石町スポーツ推進計画策定の狙いは	15
 いわもちきよみ 岩持清美議員	ミニスキー場計画の必要性は	16
 やまぎきるみこ 山崎留美子議員	(仮称)七ツ森地域交流拠点整備、なぜ急ぐ	17
 うわのみよじ 上野三四二議員	新教育改革にどう取り組むか	18
 いしがめみつぎ 石亀貢議員	企業誘致活動の強化を	19

網張鉦泉地の使用許可は

観光商工課長／条例に基づき手続きは
していない



法を正しく解釈し、
正しく適用せよ。
違法紛いが続けば、
大きな不祥事が
おきるだろう。

問 一般財団法人国民休暇村協会への網張鉦泉地の温泉掘削と温泉所有権の権利移転に至る手続で、町の行政財産である鉦泉地の使用許可をしたのか。

観光商工課長 条例に基づく手続はしていない。指摘のとおり、手続が必要だったと反省している。今後の事務執行は、網張に限らず、町が所有する土地を使用する場合、行政財産使用許可に関する条例に基づいて適正に事務を進めていく。

農業の30年問題への取り組みは

問 「農業の30年問題」といわれる所得補償の全面廃止に対して、町独自の農業、農村政策を示してもらいたい。

町長 JA 新いわてと連携しながら作付け品種の適正配置を進めるとともに、直播や密苗などの生産コスト低減による経営安定を推進していきたい。

早稲田大学との共同研究の成果は

問 早稲田大学との共同研究のまちづくりへの投資と成果の評価検証を行い、町民と議会に説明するべきではないか。

企画財政課長 町民の皆さんに報告会などで説明している。成果としては、いま進めている町有地14ヘクタールプロジェクト、地域包括ケアシステム、定住・移住などに取り組んでいることである。今後、この取り組みの成果を町民の皆さんに説明していきたい。

補助事業への指導体制強化を

問 耕作放棄地復旧補助金事業等の会計処理に疑問の声が聞こえてくる。町の指導はどうなっているか。

農林課長 補助事業に関する事務処理関係は、適正な処理がなされるように指導を徹底していく。

他にこんな質問もしました

- ・健康寿命を維持させるための町独自の政策は



網張温泉源泉

橋場地域の築堤は

町長／29年度中に県が工事に入る予定



町の予算として
前年よりも借金
(地方債年度末残高)が
増える年度が出るのは
避けるべきだと
いつも主張して
いるのですが…。

問 先の大雨被害で、竜川流域で橋場地域と小赤沢地域が被害が大きかったが、橋場地域が未整備だが、地域の声を県に反映できるよう働きかける機会をもうけるよう町として動いては。

町長 県では、29年度中に河川土砂を寄せて暫定的に築堤工事に取りかかり、年度内に終了する予定と聞いている。県には、地域住民の要望内容は申し入れをしたい。

下水道料金値上げはなぜ

問 下水道料金の値上げを発表したが、この値上げは国の指針に従うためのものか。財政的に窮迫しているためのものか。

町長 下水道料金の値上げは、国の指針が示され、それに従うということもあることと、一般会計からの繰り入れを是正するために必要ということで値上げすることを決めたもの。

町道丸谷地4号線の今後の計画は

問 町道丸谷地4号線と隣接する小岩井農牧(株)の雑種地を接続して沼返地内と小岩井農牧(株)側を一本の道路として通すつもりか。

町長 平成30年4月から両方を使用できるように計画している。

地域整備課長 小岩井農牧(株)の雑種地は町道に認定されてはいないが、町が管理する道路だという捉え方で、当然接続する。



早期の築堤が望まれる橋場地区

指定管理者制度取り組みの改善は 町長／評価方法見直しなど 協働推進を支援

問 指定管理者の事業辞退や指定管理料の不適切な処理などが発生し、指定管理の取り組みを見直す時期に来ているのではないかと懸念しています。

町長 今後の制度運用に当たり、制度の趣旨を十分に踏まえ、評価方法の見直しや指定期間中の職員配置精査など相互に尊重協力し、多様化する住民ニーズに迅速的確に対応できるよう協働推進を支援していく。

問 制度導入から3期目13年を経過し、主に同一団体が継続して指定管理者に再指定されているが、一旦公募して競争性を高め住民サービス向上を図ってはどうか。

総務課長 前例踏襲的な部分があることも否めない状況である。競争性、公平性、透明性の観点から制度運用を見直したい。施設やその目的等によって公募も視野に入れて検討したい。

高齢者福祉計画の取り組みは

問 2025年には団塊の世代が75歳以上の高齢者となり、それに伴い要介護者も相当増加すると見込まれるが、高齢者及び介護保険事業の取り組みは。

町長 地域包括システム構築事業に5カ年計画で取り組みを開始した。医療、福祉、介護の垣根を越えた包括的な連携のもと、誰もがその人らしく暮らせる地域社会づくりに取り組んでいく。

問 2025年の要介護認定の割合はどの程度を目標としているか。

長寿支援課長 今年度からの、介護予防日常生活支援総合事業の中で介護予防に強力に取り組む、元気高齢者の数として8割位を目標としている。



政策を
キチッと評価して
次に生かして
いかなないと…



指定管理されている銀河ステーション

タイ訪問の効果は

町長／タイ旅行業協会の総会に参加など町を PR できた



質問、提案に対し、
取り組む姿勢が
見えない。
なぜないのか、
知らないのか、
世の中のか、
変わるのか？

問 タイ旅行業協会訪問並びにタイ国際旅行フェア視察に5日程の日程で参加したようであるが効果はあったか。また、近隣の首長も同行したが、広域的な計画方針等ができたか。

町長 観光目的の入国ビザの免除措置等を要因に、近年の訪日客が増加しているタイをターゲットに27年度から誘客事業に取り組んでいる。28年度はタイ旅行業協会の会員150社が参加する総会に参加することができ、PRをしてきた。来場者50万人を誇るアジア最大規模の国際観光フェアにおいて雫石町をPRしたことについては大変良かった。

また、八幡平市長、盛岡市長、盛岡広域振興局長も同行し、花巻空港へのチャーター便運航予定に伴い、近隣市町と連携した誘客活動を展開していくこととした。

29年度の町政の基本方針は

問 私たちは、豪雨災害を経験し災害の恐さを知った。特に道路の横断管が口径不足であることが被害を大きくした箇所もあった。後世に記録を残し、諸官庁と交渉し改良していくことが大事と思うが、どのように進んでいるか。

町長 雫石町豪雨災害に起因した災害復旧工事は完了したが、横断管などの個別施設について27年度に調査を行った。おおむね各設置者の基準に基づいて設置されており、更なる断面拡大の改良は難しいと思われるため、28年度改良実績はない。また、29年度の改良予定があるという情報も聞いていない。



タイで雫石をPR

雫石町スポーツ推進計画策定の狙いは

教育委員長／生涯健康で心豊かに暮らせる
まちの実現を目指す



ウォーキングや
介護予防運動などまで
含む幅広い
スポーツの推進。
期待大。

問 雫石町スポーツ推進計画(案)で新たに打ち出した考え、施策は何か。

教育委員長 すべての町民がスポーツを通じて生涯健康で心豊かに暮らせるまちを基本理念に、4つの基本目標、①子どものスポーツ機会の充実、②生涯スポーツの推進、③スポーツ環境の充実、④スポーツによる地域の活性化とそれに連なる13の基本施策を掲げ、29年度から35年度までを計画期間として、今回新たに策定しようとするものである。今後、本計画(案)に掲げる施策を展開するため、その中心的役割を担う町体育協会と加盟団体の組織体制を充実することや関係機関、団体等との連携を強化し、町民の誰もが年代や体力、ニーズ等に応じて、するスポーツ、見るスポーツ、支えるスポーツそれぞれの視点でスポーツに親しめる環境づくりに努めていく。

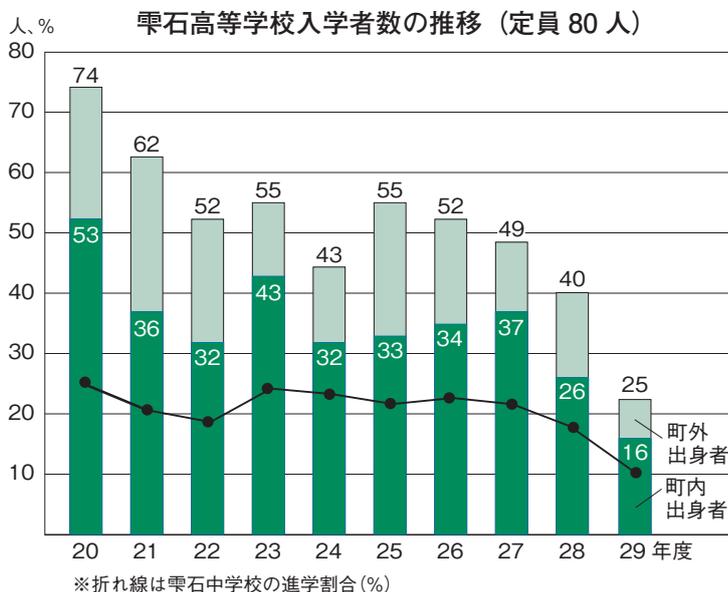
問 「町民ニーズに応じた施設整備を推進します。」とあるが、この具体的内容はどのようなものか。

教育委員長 活動場所や時間帯、種目などの多様化が進んでおり、町民の運動習慣の定着に向けた取り組みを進める上で、これまで以上に利用者ニーズの把握に努め、施設整備をしていく必要がある。29年度は、鶯宿グラウンドB脇のトイレの増設や町体育館トレーニング室の器具の更新などを予定している。

県立高校の出願者数激減の理由は

問 雫石中学校の卒業生数は前年度より多いのに雫石高校への出願者数が激減した理由は何か。

教育委員長 雫石中学校の部活動での活躍が顕著であり、県内外の高校から推薦依頼が多く来ていることや専門学科のある高校を選択する生徒が多いこと、盛岡市内及びその近隣市町にある高校も地元の高校として選択できる環境にあることなどが考えられる。今後は、県教育委員会や雫石高校、支援していただける関係者の方々との連携を図りながら入学者の確保に向けた取り組みを進めていく。



ミニスキー場計画の必要性は

町長／具体的計画はありません



待機児童が
20名以上いる。
都会から老人を
連れて来るより、
今住んでいる人
目を向けるべき。
子どもに、保育所
若者に、働く場を。

問 昨年、ミニスキー場計画の話が聞こえてきた。スキー人口は減少の一途をたどっている。町内の3つのスキー場も苦戦していると思う。小学生を無料で受け入れているスキー場もある、初期投資、人員配置、運営費、安全面から考えて建設の必要はあるのか。

町長 27年3月定例会で、町営クロスカントリースキー場西側の男助山斜面へジャンプ場と初心者向けアルペンコース整備の質問があった。農地法等の課題もあり、関係団体との調整を図りながら検討すると答えた。今年度は、町営クロスカントリースキー場の通年利用拡大に向けたニーズの調査を実施する。

地区公民館の指定管理はいつから

問 先日の臨時議会で地区公民館を近い将来指定管理へ移行すると答弁があった。地区公民館は、地域の拠点としての重要な使命がある。指定管理へ移行しようとするのはなぜか。また、いつからか。

町長 現在「小さな拠点」や「地域運営組織」形成について検討している。地区公民館を住民の自主的活動を行える場として、地域で管理運営できるようにしたい。移行の時期は、地域運営組織が形成され、体制が確立された時となる。

町有地 14 ヘクタール開発は

問 町有地 14 ヘクタール開発は、変更につながる変更である。発言したことには責任を持つべきだ。町有地 14 ヘクタール開発の計画とタイムスケジュールを示せ。

町長 開発行為に伴う申請は、今年5月頃を予定している。サービス付き高齢者住宅については、(株)コミュニティネットが整備、30年度に自立型40戸、31年度に介護型30戸の工事に着手する。



通年利用のため調査するケップアレランド

(仮称)七ツ森地域交流拠点整備、 なぜ急ぐ

町長／時間的に短縮できる 一括発注を決定



「プロポーザル」
聞き慣れないかも
しれませんが、
結婚の申し込みも
同じ。
良い提案が
欲しいな。

問 町有地 14 ヘクタール活用計画で、地域交流拠点施設を整備すると2月になって議会に説明した。町は、インフラ整備以外の予算は使わないと言っていたことから一転した。進め方が拙速過ぎないか。

町長 この事業は、国の交付金を活用することから29年度末までとなっており、それ以上の繰り越しは認められない。指名競争入札における設計委託と工事請負を別々に発注すると完成が遅れるので、設計施工の一括発注プロポーザル^{*}を採用した。

問 プロポーザル審査委員会を立ち上げ審査するとしてあるが、委員は町職員に限られている。先進地研修で訪問した長野県小布施町は、同様の形式で図書館建設にコンペを行い、専門家や住民も入って審査を公開していた。そういう考えはないか。

企画財政課長 プロポーザルでの工事は今回が初めてであり、審査も大変だということもあるが、まずは今ある指名委員会を基準にした。

問 応募件数はどのくらいあったか。

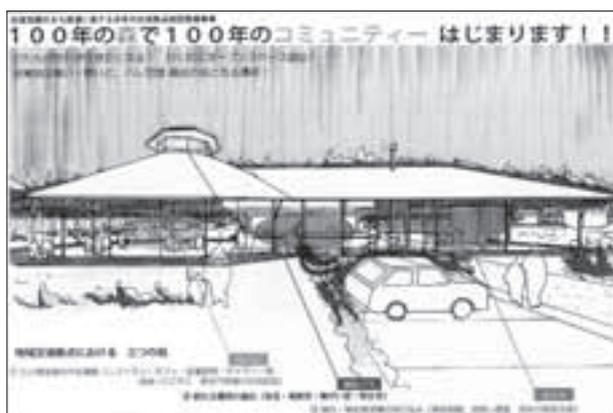
企画財政課長 提案したいという参加希望は2事業所あった。

問 14ヘクタール事業にかかる全体計画は、2月に示された案が最終だと伺った。その中のサービス付き高齢者住宅と介護型の2つの長期収支計画表に、支出として書かれるはずの一般経費が計上されていないのはなぜか。

企画財政課長 コミュニティネットの話では会社独自のノウハウがあり、それで全国でサービス付き高齢者住宅を運営できている、ということだった。

問 図面では高齢者住宅は戸建てであり、地域交流拠点施設を結ぶ動線を考えると、食事や介護はどうするのか全く見えてこない。戸建てではスケールメリットも出ないのでは。

町長 冬のサービスをどうするかなど会社と意見交換しており、今まとめている。その時にはまた説明したい。



プロポーザルで提案された拠点施設

^{*}プロポーザル（発注）…複数の者に企画を提案してもらい、優れた者を選定すること。

新教育改革にどう取り組むか

町長／権限と責任において積極的に



廃校地域の
再構築振興策を
早く示して
ほしい。

問 地方教育行政を進めるなか、いじめや自殺問題に端を発し、教育行政の責任の明確化が政治問題となったことで、首長が教育委員会に関わる権限強化の方向で改革が行われている。どう進めるか。

町長 本町の総合教育会議は、教育委員会が進めている小学校の適正配置、統合に係る事項、統合準備委員会で話し合われた統合の使用校舎、統合の時期、教育環境の整備など教育委員会と協議しながら町としての方向を示し、施策を進めている。自らの権限と責任において重大な事態への対処、措置を講ずるなど迅速な危機管理体制で臨んでいる。政治的中立性を確保しながら積極的に取り組んでいる。

町独自の農林業政策を

問 農業委員会制度改革、農協法改正による地域農協の事業推進にも変革が見られる。本町の農地中間管理事業を含む町独自の農林行政をどうリードするか。

町長 農林行政は広範な改革が打ち出されている。農業者は経営者意識が強く求められている。制度改革の周知の徹底や新たな制度への対応を関係機関、団体と連携し、持続可能な生産体制に向け取り組む。

町財産の効果的活用と運用は

問 御明神財産区の管理運営において、志戸前山の下げ戻しは、御明神地区先人の偉業として語り継がれている。町財政や町発展に大きく貢献して来たことは史実の通りである。適正な管理と収益性を追求するうえで管理全体について検討すべきでないか。また町有地の遊休財産の利活用の検討はどうなっているか。場合によっては処分の検討など課題は多くある。どのように進めるのか。

町長 森林資源は、長期間のサイクル活用となることから、今後も木材市場の動向や社会情勢を注視しながら進める。御明神財産区の管理運営は改善改革を図っていく。土地の利活用は検討しているが、旧上長山小校庭は企業誘致、鶯宿コミュニティ広場は一部を簡易水道ポンプ場敷地へ用途変更、上町教員住宅跡地、中島教員住宅跡地、御明神地区プール敷地などは利活用が難しいことから売却する方向を考えたい。

企業誘致活動の強化を 町長／立地支援策による工場整備等を支援

問 本町の魅力を発信し、定住・交流人口の増加を目指すために、民間活力の導入、地元雇用、住民所得の向上、町税による自主財源の確保が住民サービスには必須である。企業誘致活動を強化すべきと考えるがどうか。

町長 これまで製造業を中心として8社を企業誘致し、雇用確保、産業振興を図っている。立地敷地として工業用地の造成には多額の費用とリスクも高く整備には至っていない。盛岡広域8市町が一体的に取り組んでいく必要から、企業立地促進法に基づく地域産業活性化基本計画を策定し、組み込みソフト、ITシステム関連産業及び食品製造業の集積を図り、地域経済の自律的発展の基盤を強化していく。

問 まち・ひと・しごと創生ビジョンの地域人口の安定化としているが動向はどうか。

町民課長 27年度、本町に転入者359人、転出者481人で、122人の転出増となっている。

(株)しずくいしの28年度決算見通しは

問 27年度まで7期連続経常損失を計上しているが、一昨年、総務省の「第3セクター等の経営健全化等に関する指針」に基づき、健全な経営状態に改善を指導していくとのことであったが、28年度の決算見通しを伺う。

町長 28年12月末時点の経営状況は、売上額3億9,018万円、前年同期比4,477万円の売上減、当期損失15万8,000円の損失計上している。28年度末時点において、経常収支を黒字転換は厳しい状況にある。

問 21年度銀河ステーション指定管理者制度導入から経常収支が連続赤字を計上しているがどうするのか。

副町長 (株)しずくいしの取締役として、経営改善、収支の赤字から脱却できない状況が続いており、29年度は経費削減、収支の健全化に向けて指示している。



町が従前と違う初めてのことを実施していくのが創生。



リニューアルした道の駅駅石あねっこ

平成29年 第2回臨時会

議決結果等一覧 会期：2月20日(月)

議案等番号	件名	議員名													採決結果				
		堂前義信	横手寿明	山崎芳邦	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀 貢	大村昭東	上野三四二		坂下栄一	加藤真純		
議案第1号	平成28年度雫石町一般会計補正予算(第7号)	○	○	欠	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	●	●	可決

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 ※賛成、反対が同数のため議長裁決を行い、前田議長が賛成し可決されました。

討 論

七ツ森地域交流拠点施設と駐車場整備工事 予算1億2,573万8千円

〔賛否同数(7対7) 議長賛成で可決〕

反対
岩持清美議員
加藤真純議員

インフラ整備以外に支出しないという町の方針が一転した。運営費がいくらになるかも算定していないなど、議論の余地がない。今後長期間にわたり指定管理費が負の遺産となる。

賛成
上野三四二議員

プロジェクトの中核となる施設で、公設民営、自治体が事業主体となる。既に国の財源が手当されている。

平成29年 第4回臨時会

議決結果等一覧 会期：3月30日(木)

議案等番号	件名	議員名													採決結果				
		堂前義信	横手寿明	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀 貢	大村昭東	上野三四二	坂下栄一		加藤真純			
議案第1号	工事請負契約の締結に関し議決を求めることについて(町有地を活用した生涯活躍のまち推進に資する多世代交流拠点施設整備事業)	○	○	棄権	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	可決

○…賛成 ●…反対 ※前田議長は採決には加わりません。

◆町有地を活用した生涯活躍のまち推進に資する多世代交流拠点施設整備事業

〔賛成7、反対6、棄権1 可決〕 契約金額…1億1,750万4千円 請負者…有限会社 小林ハウス

【主な質疑】

問

【大村議員】工事実施計画書ができているのに、なぜ工事請負契約なのか。また、町の規則で建設工事格付B級の業者が請負える工事は、3,000万円以下となっているが請負できるのか。なお、業者は特定建設業の資格を持っているのか。

答

【企画財政課長】今回はプロポーザルの一括方式が妥当だと考えている。木造建築なので協力会社から協力を得られれば、B級でも実施できると考えている。

問

【川口議員】事業主体が町長、プロポーザル審査委員長が町長、指定管理予定のまちづくり会社の社長が町長では町民が不審に思う。

答

【町長】公正な立場を心がけている。めどがついたらまちづくり会社の社長は辞める。

総務常任委員会

〔杉澤敏明委員長〕

○雫石町行政改革大綱・行政改革実施計画

町では、総合計画の目指す将来像を実現するための行政のあるべき姿・体制づくりの取り組みをするため、雫石町行政改革大綱・行政改革実施計画を定め、推進してきています。28年度をもって現大綱・現実施計画が終了するので、29年度中に新たな大綱（第4次改訂）と新たな実施計画（29年度～31年度）を策定するとしています。

新実施計画に新たに盛り込む項目として、現段階で検討されているのは次のとおりです。①地域公民館等の地域づくり拠点化の検討、②行政区、地域コミュニティなどの地域の役割および依頼事項の見直し、③職員の住民協働理解の推進と行動指針の検討、④PPP^{*1}、PFI^{*2}等の導入検討、⑤公営企業、第三セクター等の経営健全化、⑥文書、伝票等の決裁方法の見直し、⑦各種会議、事業説明や指導等におけるタブレット機器の導入検討、⑧ワークライフバランスの推進と職場改善運動の実施、⑨役場庁舎、公民館等公共施設への公衆無線LANの設置検討。

※1 PPP (Public Private Partnership) :
複雑化する自治体の課題に対して行政だけでなく民間の力も幅広く活用しようとする手法

※2 PFI (Private Finance Initiative) :
公共事業に民間資金を取り入れる手法

産業建設常任委員会

〔岩持清美委員長〕

○条例改正は29年度前半に

去る1月26日、農業委員会総務委員との意見交換会を行いました。テーマは農業委員会制度の改正等についてでした。農地法等の改革により、現在の農業委員は、30年5月14日が任期であり、次期改選から新制度で発足しなければなりません。

新制度では、公選はなくなり、農業委員は議会の同意を得て町長が任命し、合議体としての意思決定（農地の権利移動の許可、不許可の決定）を担当し、認定農業者等が過半数を占めることとなります。また、農業委員会は「農地利用最適化推進委員」を委嘱し、担当区域における農地等の利用最適化の推進を担当します。農業委員と最適化推進委員は、いずれも特別職の地方公務員（非常勤）となります。これにより、29年度前半に人員等を含め制度の改正案を取りまとめ条例を改正し、周知期間をとり新制度発足は30年5月となります。議会としても、スムーズな移行へ協力していきます。



農業委員との懇談会

教育民生常任委員会

〔山崎留美子委員長〕

○老人憩いの家の耐震診断

3月13日、2月末に辞職した山崎芳邦副委員長に代わり、上野三四二議員を互選にて決定し、29年度予算にかかる所管事務調査を行いました。

老人憩いの家管理運営新規事業の中に耐震診断委託料として、139万6千円が計上されました。災害が発生した祭、町の指定避難所となることから、耐震の診断が必要だという説明を受けました。建物は築40年と老朽化しています。また、近隣には町民憩いの家があり、民間の事業所もあります。町が運営できるという観点から、避難場所に民間は適合しないという説明でした。しかし、老朽化している建物に耐震診断をすることに多くの質問が出され、慎重に検討する必要があるのではないかとという全員一致の意見でした。

また、新しくスタートした御所小学校の児童たちが利用する、スクールバス路線図の説明を受けた後、完成した雫石中学校武道場の視察も併せて行いました。



老朽化が進む老人憩いの家



議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



なかの ひろし
中野 洋志さん
(37歳・林行政区)

スポーツは 雫石の自慢

私は現在、子どもの入団をきっかけに、雫石ダイナミックス野球スポーツ少年団のコーチを務めさせていただいています。私自身も同スポーツの出身者で、子どもが入団したときは親としてとてもうれしく思いました。

雫石は昔からスポーツが盛んな町で、野球に限らずさまざまなスポーツを楽しむことができ、環境や設備も他の市町村にくらべ十分に整っていると思います。それが雫石町の自慢のひとつだと私は思います。その中で育つ子どもたちも、スポーツを通じて学べることもたくさんあると思いますし、たくさん仲間とも出会えると思います。しかし最近、少子化等から子どもの数も減り、スポーツ少年団に入らない子どもも増えてきていると感じています。

町では今、小学校の統合などの問題もありますが、子どもたちがより楽しくスポーツに取り組んでいける環境づくりをしていただきたいと思っています。また、より多くの子どもがスポーツを始めて欲しいと思います。



かっこんだ みか
葛根田 美香さん
(35歳・葛根田行政区)

未来を担う 子どもたちのために

私は、一戸町から雫石町へ嫁いで7年になりました。

今年度1年生になった長男、保育所年中の次男、昨年8月に出産した三男の子育て真っ最中です。

雫石町は、第三子以降の出産祝いと保育料無料、高校生までの医療費助成など手当が厚く、子育て世代に優しい町だと感じます。私自身、これらの支援にはとても助けられています。

しかし、まだ足りないと感じること、それは保育所の問題です。息子の通う保育所では、老朽化が進み、扉の立て付けが悪く、冬は寒かったり、遊具も壊れて撤去されたままのようです。子どもたちが、もう少し快適に楽しく過ごせるような環境づくりが必要だと思います。

それと、私が以前職場復帰のため、保育所に申し込みましたが、保育士が足りないということで、入所を待った経験があります。また、兄弟が同じ所に入らず別々の保育所に預けているという話も聞きます。希望するときに、その場所にすぐ子どもを預けられるようになれば、親も安心して働くことができるのではないでしょうか。

未来を担う子どもたちが、過ごしやすい町づくりを期待しています。



うえむら まこと
上村 信さん
(50歳・鶯宿行政区)

地域の人口増加を

私は鶯宿で理容店の2代目として働きながら、鶯宿温泉観光協会事務局長も務め、地域の各団体等にも参加しております。自治会、消防団、地区体育会、観光関係諸団体や各種スポーツ大会など活動内容は広範多岐にわたります。

色々な活動を通して思うことは、次の担い手が育たないことを感じます。各諸会議に参加しても、顔ぶれが一緒と思うことが多々あり、話し合う議題が変わるだけです。地域に人はいるのですが、年代に関係無く面倒だから、大変そうだからやらない。やりたい人だけやればという風潮が目立ち、協力する人が減っています。先に立つ人は、ボランティアで自分の時間を削りながら、地域の活性化のために頑張っていますが、各種事業実施には地域住民の協力が欠かせません。

私は、自分の子が今後もこの地域で生活し、楽しいイベントや運動でできる場を作り、残してあげられればと思ひ様々な活動に協力し、子どもにもできるだけ手伝わせています。

観光・商業は、人がいて商売が成り立っていますので、地域の人口増加にむけた町政をお願いします。

しみず ばた あきお
在京雫石町友会 会員 清水端 秋男さん



わんぱく体験や恩師の言葉が生きる原点

私は昭和 21 年上西根行政区で生まれた(屋号：喜惣)。実家の近くを清水(湧水)が流れていて、魚・蛙など色々な生物が住み、水車もありのどかな風景だった。愛する雫石の里山の風景である。父母との思い出も多い。家族には厳しい父親だったが、私にはやさしく、友達にいじめられたときには助けてくれた。炭焼き小屋から炭俵を担がされ駄賃をもらったこともある。母の実家(篠川原・松原家)に遊びに行くのもとても楽しみで、家が神社の近くにあり秋祭りの時はにぎやかで特に楽しかった。また当家の邦雄さんや兄(春雄)と一緒に葛根田川で川遊びや魚取りを楽しんだ。

中学校の時には虚弱体質だったので矢羽々昭夫先生から「山に登れば体が強くなる」と教えられた。その言葉が脳裏に焼き付いていたのか、その後の人生に大きく影響した。子どもの頃から生死を分けた思い出がたくさんある。葛根田川で溺れて友達に助けてもらったり、山でのターザンごっこで転落したり、牧野の放し飼いの子馬に蹴られて失神したり、かた雪の上を歩き川に落ちたり、学校の屋根に登って怒られたりした。わんぱくな子

ども時代だったがその頃から危険な遊びや高い所は好きで楽しかった。

自衛隊では第一空挺団やレンジャー部隊に所属し鍛えられ、体も子どもの頃とは違いとても頑強になった。また自衛隊山岳会に入り山登りも始め日本アルプスなどで登攀訓練した。1975 年 29 歳の時、ヒマラヤ遠征チームに選ばれシックル・ムーン峰(6,574 m)登頂に挑んだ。3 か月の厳しい体験をし、壮大なヒマラヤの自然に驚きながらも満喫した。忘れられない経験である。

自衛隊退職後は、特殊資格を生かして「タンクローリードライバー」(化学薬品・化粧品原料・石油等危険物運搬)として 65 歳まで全国をかけ回り、全国各地に知人も多い。

また趣味のジャパンスカイダイビングクラブで 40 回ほどスカイダイビングを楽しんだ。今までの人生を振り返ると、子どもの頃のわんぱくな体験や恩師のことばが潜在的に生きる頑張りの基礎(雫石魂)となっているような気がする。

雫石の美しい自然が守られることを願い、人口の減少や農業の継続を危惧するこの頃である。



習志野第一空挺団時代



ヒマラヤ遠征時、高度 6,000 メートル付近(中央筆者)

昭和 21 年 10 月生まれ。西根小学校 - 西山中学校 - 岩手総合職業訓練所(現在岩手職業能力開発促進センター) - 日立工機(株) - 陸上自衛隊(勝田・武山・御殿場駐屯地・習志野第一空挺団) - タンクローリー専用ドライバー(数社) 千葉県市原市在住。

雫石町へようこそ



お嫁さん

お婿さん



(左) 夫の太希(27歳)、(左下) 長男の絢斗(1歳)、
(右下) 次男の蓮斗(1歳)と

ご縁があり、町外から迎えられた
「お嫁さん」

かんの みか
菅野 美香さん (25歳 千葉県松戸市出身)
(旧姓：市野澤、岩持行政区在住)

Q- お二人の馴れ初めは？

- 共通の音楽の趣味がきっかけで知り合いました。

Q- 雫石町に暮らしてみて、いかがですか？

- 自然が豊かで、四季を感じられる町だと思います。また、関東では感じられないようなおいしいお米と野菜がある町だと思います。

Q- 町へ望むことは？

- 子どもに優しく、安心して子育てできる町づくり。4月から職場が決まっていますが、子どもたちが保育所に入所することができずに非常に困惑しています。保育士の確保に力を入れて待機児童のいない町を目指して欲しいです。

Welcome 雫石町出身者

～在京雫石町友会からのお知らせ～

議会広報で毎回好評の「ふるさとへの便り」は、在京雫石町友会の皆さんにご協力いただき掲載しております。

在京雫石町友会では、ともに雫石町に思いを寄せ、楽しく様々な活動を行う、ふるさと雫石の仲間を募集しています。

ご家族やご親戚で、関東方面にお住まいの方をご紹介ください。若者大歓迎です。お問い合わせは下記まで。

在京雫石町友会 高畑昭四郎副会長(雫石町観光大使)
電話 047-463-7689・携帯 090-2763-1816
Eメール: shoshiro@muh.biglobe.ne.jp (千葉県船橋市在住)



情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳(1月～3月)】

月	葬祭費		お祝い、会費	
1月	0件	0円	11件	59,500円
2月	0件	0円	6件	27,000円
3月	0件	0円	7件	25,000円
小計	0件	0円	24件	111,500円

※議会の動きはHPに掲載しています。

今月の表紙

雫石ダイナミックス
野球スポーツ少年団
監督：横手寿明さん



父母会事務局長の
中村佳和さん
(中町一行政区)

雪が解けたグラウンドに少年たちの元気な声が響く。撮影日の練習会場は七ツ森小学校。「心・技・体を鍛えながら、運も味方につける」をモットーに、県大会出場を目指して練習している。」と中村父母会事務局長は話してくれた。

3月現在団員は、雫石小12人、七ツ森小4人の16人で、雫石小、七ツ森小学校を拠点に活動中。加入等のお問い合わせは、雫石町体育協会スポーツ少年団担当(☎019-692-1644)まで。

■編集デスク

新年度になり木々の緑が目立つようになってきました。朝には、黄色の帽子をかぶったピカピカの一年生が楽しそうに学校に向かう姿を見て、新鮮な気持ちにさせられます。

さて、議会だよりは「分かりやすく、親しみやすく」を心がけて作成していますが、お気づきの点がありましたら、議会事務局までご連絡ください。(議会広報編集委員：堂前義信)

■議会からのお知らせ

一身上の都合により、山崎芳邦議員(議会広報編集委員)が平成29年2月28日付で退職しましたので、議員数は15名になりました。